

技術提案書作成要領

1 総則

- (1) 技術提案書の用紙サイズは、全て A 4 縦とし、文字の大きさについては 8 pt 以上とする。
- (2) 技術提案書（様式 6）は 1 部、技術資料（様式 7～10）は 2 部提出すること。
なお、書類はクリップ留め等により提出するものとし、ホッチキス留め、製本、ファイル綴じ等はしないこと。

2 業務の実施方針（様式 7）

- (1) 業務の実施方針（様式 7）は、業務の実施に当たっての方針あるいは内容についての提案、業務の実施に当たっての取組体制、技術者チームの特徴、特に重視する分野毎の設計上の配慮事項（提案を求めている課題を除く。）、その他業務を実施するに当たって配慮することなどを用紙 2 枚（文字の大きさは 8 pt 以上）の範囲内で記述すること。
- (2) 業務の実施方針（様式 7）には、文章を補完するための最小限の写真、イラスト、イメージ図、エスキス及びスケッチを記載又は貼付することができるが、実施方針と写真等を含めて用紙 2 枚の範囲内で記述すること。また、具体的な設計図、模型（模型写真を含む。）及び透視図等を記載又は貼付することはできない。社団法人公共建築協会発行の「プロポーザル方式による設計選定の進め方」に記載されている「説明書等への添付資料の記載例」（319～321P）を参照すること。超過した用紙及び具体的な設計図・模型・透視図等については、評価対象とはしない。

3 工程計画等（様式 8）

- (1) 「業務分野」欄は、主な業務分野（電気設備、機械設備などの別）を記入すること。
- (2) 「工程計画」欄は、業務分野毎の主な作業内容（例：基本図作成、詳細図作成、設計計算、数量集計などの別）の実施時期を実線で記入すること。
- (3) 「延従事予定技術者数」欄は、管理技術者、主任技術者及びその他技術者毎に延従事予定技術者数を記入すること。また、協力設計事務所に依存する部分については、（ ）書き内数で明記すること。
- (4) 公示及び説明書等で示す履行期限を越えた工程計画の場合は、評価対象とはしない。

4 課題についての提案（様式9）

(1) 課題についての提案（様式9）は、次に掲げる課題についての基本的な考え方を課題1つに対して用紙1枚（文字の大きさは8 pt 以上）の範囲内で記述すること。

①効果的な環境負荷低減に関する提案

②イニシャルコスト及びランニングコストの縮減に関する提案

(2) 課題についての提案（様式9）には、文章を補完するための最小限の写真、イラスト、イメージ図、エスキス及びスケッチを記載又は貼付することができるが、各課題の提案書と写真等を含めて用紙1枚の範囲内で記述すること。超過した用紙については、評価対象とはしない。また、具体的な設計図、模型写真及び透視図等は記載又は貼付することはできない。社団法人公共建築協会発行の「プロポーザル方式による設計選定の進め方」に記載されている「説明書等への添付資料の記載例」（319～321P）を参照すること。超過した用紙及び具体的な設計図・模型・透視図等については、評価対象とはしない。

5 協力設計事務所（様式10）

(1) 協力設計事務所（様式10）は、協力設計事務所を予定している場合に記入すること。

(2) 複数者の協力設計事務所がある場合は、別々の用紙に記入すること。

(3) 「協力内容」欄は、業務区分（電気設備、機械設備など）及び作業内容（基本図作成、詳細図作成、設計計算、数量集計などの別）を記入すること。

(4) 「延従事予定技術者数」欄は、担当業務区分毎に延従事予定技術者数を記入すること。

(様式6)

平成 年 月 日

国立大学法人鹿児島大学
契約担当役理事 宮 田 裕 州 殿

(提出者)
【住所】
【法人等名】
【代表者等氏名

印】

技術提案書

業務名：鹿児島大学（郡元）機械工学科2号棟改修設備設計業務

上記業務について、技術資料2部を添えて技術提案書を提出します。

(様式7)

【技術資料】

設計事務所名：

業務の実施方針

設計事務所名：

工 程 計 画 等

業務分野	工 程 計 画												延従事予定 技術者数 (人日)
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
													管理： 主任： 他： 計：
													管理： 主任： 他： 計：
													管理： 主任： 他： 計：
													管理： 主任： 他： 計：
													管理： 主任： 他： 計：
													管理： 主任： 他： 計：
													管理： 主任： 他： 計：
合 計												管理： 主任： 他： 計：	

設計事務所名：

課題についての提案

本業務は、耐震性が低く、老朽化した機械工学科 2 号棟の改修整備を行うものである。

本業務実施にあたり、室内環境の快適性を維持しつつ、CO₂ 排出等の削減や省エネルギーに配慮した提案と、近年の建設費の高騰等を考慮したイニシャルコストの低減、ランニングコストの削減に配慮した提案を求める。

課 題 ① ： 効果的な環境負荷低減に関する提案

課 題 ② ： イニシャルコスト及びランニングコストの削減に関する提案

(様式10)

設計事務所名：

協力設計事務所

法人等名	
代表者等名	
所在地	
協力内容	
延従事予定 技術者数 (人日)	